

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	1	子育て支援の充実
基本施策	1	母子保健
4年後のまち	①	パートナーや家族の妊娠・出産に対する理解が広がり、安心して妊娠・出産にのぞめる妊婦が増えている。
	②	健診等の制度や地域の活動を利用することで、子どもがより一層健康で、すくすくと育っている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① パートナーや家族の妊娠・出産に対する理解が広がり、安心して妊娠・出産にのぞめる妊婦が増えている。					設問② 健診等の制度や地域の活動を利用することで、子どもがより一層健康で、すくすくと育っている。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	34	7.0%	9.5%	9.5	そう思う	83	16.6%	20.4%	20.4
どちらかというと思う	123	25.2%	34.3%	25.7	どちらかというと思う	187	37.3%	46.1%	34.5
どちらとも言えない	138	28.2%	38.4%	19.2	どちらとも言えない	113	22.6%	27.8%	13.9
どちらかというと思わない	39	8.0%	10.9%	2.7	どちらかというと思わない	15	3.0%	3.7%	0.9
そう思わない	25	5.1%	7.0%	0.0	そう思わない	8	1.6%	2.0%	0.0
わからない	112	22.9%			わからない	84	16.8%		
無回答	18	3.7%			無回答	11	2.2%		
総数	489	100.0%			総数	501	100.0%		
有効回答数	359		100.0%	57.1	有効回答数	406		100.0%	69.8
					全設問の平均				
					63.5				

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	妊娠11週以前での妊娠届出率 (%)	妊娠届出総数に対する11週以前での妊娠届出数の割合。できるだけ早期に妊娠届出を行うよう啓発を行い、妊娠初期から母体及び胎児の健康管理の機会をつくることを目指します。		H26	H26
				94.1	94.8
担当課	健康課	指標の把握方法(数値の出所)	妊娠届出		
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
2	新生児・乳児訪問の実施率 (%)	新生児訪問やこんにちは赤ちゃん事業など乳児期に行った、保健師・助産師訪問の実施率。出産後の不安を抱えやすい時期に、専門職による訪問を行うことで、育児に関する知識の普及や不安の解消を図り、母親の心身の健康状態の安定を図ります。		H26	H26
				96.1	96.7
担当課	健康課	指標の把握方法(数値の出所)	訪問実績報告		
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
3	乳幼児健診受診率 (%)	乳幼児健診の平均受診率。健診体制の見直しを行った(平成24年)ことにより、更なる受診率向上を目指します。		H26	H26
				99.0以上	98.1
担当課	健康課	指標の把握方法(数値の出所)	乳幼児健診対象児のうち受診した児の割合		
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>保育園に通園する3歳児の増加により、園での内科健診をもって健診を受けたと判断する保護者の増加が考えられる。		

3 市民の役割分担（市民1人でできること） 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

②2	妊婦健康診査や乳幼児健康診査を受け、健康状態を把握している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	37	7.4%	32.5%	32.5
取り組んでいる	34	6.8%	29.8%	22.4
少し取り組んでいる	15	3.0%	13.2%	6.6
あまり取り組んでいない	12	2.4%	10.5%	2.6
全く取り組んでいない	16	3.2%	14.0%	0.0
無回答	32	6.4%		
該当しない	355	70.9%		
総数	501	29.1%		
有効回答数	114		100.0%	64.0

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	働く妊婦や母親に対し、利用できる制度の情報提供を行います。	母子健康手帳交付	妊娠届けによる母子手帳発行数 976件 妊娠届出者全員に対し、保健師等の専門職が面接を実施。各種制度の説明を行った。		健康課
①2	妊娠・出産・子育てに関する知識、技術を習得する機会や情報の提供を行います。	パパママ教室・パパ講座	初妊婦およびそのパートナーが妊娠・出産・育児に関する知識と技術を習得する機会として、「パパママ教室」「パパ講座」を実施した。 パパママ教室 参加延べ人数 456人 パパ講座 参加者数 346人		健康課
①3	父親の母親に対する精神的支援や理解の必要性の啓発を行います。	パパ講座、父子手帳交付	パパ講座に参加した夫婦数 173組 定員に対する参加率 173組/189組×100=91.5%		健康課
①4	妊産婦・新生児訪問や妊婦健康診査を実施します。	妊婦一般健康診査、妊産婦・新生児訪問指導事業	新生児・乳児訪問の実施率 873/903=96.7%（対象者に対する実施率） 未訪問理由…訪問拒否14件・電話訪問4件・転出等13件		健康課
①5	未熟児への支援のため、産科医療機関との連携を強化します。	未熟児訪問指導事業	出産医療機関からの情報提供により未熟児訪問指導を実施した。 未熟児訪問延べ件数 38件		健康課
②1	母子保健推進ボランティアの能力向上のための研修等を行います。	母子保健推進員研修会	健康づくり推進員対象に年の2回の研修会を実施。		健康課
②2	疾病の早期発見、早期治療、療育などを行うため、乳幼児健康診査を実施します。	乳幼児健康診査事業	3か月・7か月・12か月・1歳6か月・3歳6か月児健診を実施。 平均受診率 98.1%	平均受診率の低下については、平成25年度実績に比べ3歳児健診以外の健診は全て増加しているが、3歳児健診は3.5%減少していたことによるもの。	健康課
②3	疾病予防のために、予防接種を実施します。	各種予防接種事業	定期予防接種（ヒブ・小児用肺炎球菌・4種混合・BCG・麻疹風疹・日本脳炎・ジフテリア破傷風・子宮頸がん・高齢者インフルエンザ）を実施。新たな予防接種として水痘・高齢者肺炎球菌予防接種を開始。		健康課
②4	健診未受診者の追跡システムを構築し、医療機関その他関係機関との連携の強化を図ります。	乳幼児健康診査事業	健診対象月の2か月後に未受診者を抽出し、保育園・幼稚園等への所属の確認を行う。所属のない児については、保健師が電話にて確認。連絡が取れない児については、家庭訪問を実施。さらに医療機関への受診状況を確認を行う。連続未受診者については、確認ができれば要対協への通告を行った。		健康課
②5	発達や育児への不安の解消等、親への支援と子どもの健全な育成のため、子育て・発達相談及び家庭訪問を実施します。	乳幼児訪問指導事業、各種育児相談	未熟児・新生児・こんにちは訪問を実施。また6か月児・10か月児・2歳6か月児・3歳児育児相談を実施し、育児不安の解消および発達支援を行った。		健康課
②6	子育てに関する知識、技術を習得する機会や交流の場の提供を行います。	各種育児教室	6か月児・10か月児・2歳6か月児・3歳児育児相談を実施し、育児に関する助言を行った。また、離乳食講習会やおやこ広場を実施し、保護者同士の交流の場を提供した。		健康課
②7	障がい児や発達に遅れのある子どもの早期療育や相談体制の充実を図ります。	障がい児相談支援事業	検証中		障がい福祉課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	63.5	B	乳幼児健診平均受診率(98.1%) 新生児・乳児訪問実施率(96.7%)と各種制度の利用率は非常に高く、保護者の育児不安の解消や、児の成長発達の確認が行えている。また、初妊婦およびそのパートナーを対象としたパパママ教室への参加率は上昇していることから、妊娠・出産にむけた知識を持つ妊婦やパートナーの割合が増加していると判断
指標	目標値を達成している 指標が多い		
市民の役割分担	64.0		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進 捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている  
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	1	子育て支援の充実
基本施策	2	保育サービス
4年後のまち	①	子どもの安全が確保され、子育てと仕事を両立させたい家庭やひとり親家庭が安心して就労できる環境が整えられている。
	②	保育サービスが充実し、必要ときに必要なサービスが受けられている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	子どもの安全が確保され、子育てと仕事を両立させたい家庭やひとり親家庭が安心して就労できる環境が整えられている。				設問②	保育サービスが充実し、必要ときに必要なサービスが受けられている。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価		
そう思う	71	13.9%	17.4%	17.4	そう思う	34	7.0%	9.2%	9.2	
どちらかというと思う	105	20.5%	25.7%	19.3	どちらかというと思う	124	25.4%	33.4%	25.1	
どちらとも言えない	137	26.8%	33.6%	16.8	どちらとも言えない	135	27.6%	36.4%	18.2	
どちらかというと思わない	67	13.1%	16.4%	4.1	どちらかというと思わない	47	9.6%	12.7%	3.2	
そう思わない	28	5.5%	6.9%	0.0	そう思わない	31	6.3%	8.4%	0.0	
わからない	87	17.0%			わからない	98	20.0%			
無回答	17	3.3%			無回答	20	4.1%			
総数	512	100.0%			総数	489	100.0%			
有効回答数	408		100.0%	57.6	有効回答数	371		100.0%	55.6	
						全設問の平均			56.6	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	保育所待機児童数(人)	保育所入所申込者のうち、保育所に入所できなかった児童数(4月1日現在)。子育て家庭を取り巻く環境や就労の動向を考慮しながら、待機児童の減少を目指します。		H27 10	H27 68
担当課	子ども課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: ■有 □無> 北地区に予定していた民間保育所の建設が遅れ、市内保育所の定員が増えなかったため。		
指標の把握方法(数値の出所)	入所児童選考結果				
2	一次預かり保育の延べ利用児童数(人)	家庭において一時的に保育が困難になった乳幼児について、保育所等で一時的に預かり、必要な保護を行うことにより、在宅で保育を行っている家庭等を支援します。		H26 6,700	H26 6,610
担当課	子ども課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 □無>		
指標の把握方法(数値の出所)	補助金実績報告				

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

②1	保育所、学童保育の利用に際して応分の保育料を負担している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	23	4.5%	22.1%	22.1
取り組んでいる	15	2.9%	14.4%	10.8
少し取り組んでいる	15	2.9%	14.4%	7.2
あまり取り組んでいない	14	2.7%	13.5%	3.4
全く取り組んでいない	37	7.2%	35.6%	0.0
無回答	35	6.8%		
該当しない	373	72.9%		
総数	512	100.0%		
有効回答数	104		100.0%	43.5

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	保育所と地域のふれあい事業へのボランティア参加の啓発や情報提供など、保育所と地域との積極的な交流を実施します。	はとぼっぼ公園清掃事業	毎月1回中保育園年長児が自治会員とともに清掃作業を行っている。		こども課
		公私立保育所の園庭開放	公立4園、私立9園で、地域の子どもたちに園庭を開放し、園庭遊びだけでなくお話し会や季節ごとの行事などを月1回実施		こども課
①2	学童保育児童の安全確保や地域行事参加への協力を得るため、地域住民への学童保育制度の周知を図ります。	民生児童委員との連携事業	行政福祉研修会時に、登降所時の見守り等を依頼する。		教育総務課
①3	保育所に入所している子どもの就学に向けて、幼稚園・学校との積極的な連携を図ります。	就学前教育相談事業	特別な支援を必要とする幼児の生活や就学に関することを就学前の5歳児を対象に年1回実施。		こども課
①4	保育士・学童保育指導員の資質の向上を図るための研修を実施します。	放課後児童クラブ職員研修事業	救急法・衛生・人権・メンタルヘルス・食物アレルギー等の研修の開催と県主催の研修会等への参加。		教育総務課
①4	保育士・学童保育指導員の資質の向上を図るための研修を実施します。	保育士職員研修の充実	生駒市保育会主催の研修を年4回実施 生駒市交流学習会を4回実施し、公私立の保育士の資質の向上を図った。		こども課
②1	適正な保育サービスが提供されるよう保育事業者に対して指導・支援を行います。	私立保育所運営費等補助事業	市単を含めた保育所運営費を補助するとともに、保育士の処遇改善に特化した補助金の交付を行った。		こども課
②2	より円滑な学童保育運営を図るために、保護者・学校との連携を図ります。	学童保育運営事業	学校内で起こった特別な出来事等を学童・保護者へ引き継ぎ、情報の共有・連携を図る。		教育総務課
②3	多様化する保育ニーズに対応するとともに、就学前教育の充実を図るために、幼保一体化の検討を進めるための検討を進めます。	(仮称)南こども園整備事業	懇話会、職員によるワーキングを開催し、平成28年4月開園に向け準備を進めている。		こども課
②3	多様化する保育ニーズに対応するとともに、就学前教育の充実を図るために、幼保一体化の検討を進めるための検討を進めます。	(仮称)高山認定こども園整備事業の促進	高山スーパースクールゾーン構想の進捗にともない、生駒北小学校跡へのこども園の建設が決まり、平成30年4月の開園に向け、平成27年度に開設懇話会の開催を予定している。		こども課
②4	保護者のニーズに合わせた延長保育、一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育を実施するとともに、更なる保育サービスの充実に向けての検討を行います。	特別保育実施事業	・一時預かり保育事業をあいつろ分保育園で開始し、7園で実施 ・一時預かり利用児童数合計6,632名 達成率6,632/6,700=99%		こども課
②5	学童保育の適正規模を維持するとともに、安全かつ衛生的で快適な保育環境の確保を図ります。	学童保育施設整備事業	・放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準条例を制定。(平成26年12月) ・真弓学童施設分割設計		教育総務課
②6	増加する保育事業に対応するため、保育所整備を行います。	保育所緊急整備事業	生駒乳児保育園の改築に対し補助を行い、定員の15名増を図った。		こども課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進 捗 度 の 理 由
市民実感度	56.6	C	保育所の整備に努めたが、就労世帯の流入増及び保育施設の整備に伴う保育ニーズの掘り起こしが影響して保育所待機児童問題の解消が予定通りには進まなかった。また、保育所が恒常的に定員超過状態のため、ひとり親家庭の保育ニーズに応えられない時があった。 通常保育以外の延長保育、病児・病後児保育、休日保育、病児・病後児保育については、ほぼニーズに対応することができた。
指標	一部目標値に達していない指標がある		
市民の役割分担	43.5		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている  
 D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	C
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	2	学校教育の充実
基本施策	2	学校教育
4年後のまち	①	児童生徒が安心して楽しく学ぶことができる環境が整えられている。
	②	子どもの個性や自己有用感、自他の生命を尊重する意識をはぐくみ、心の教育が充実している。
	③	市民・地域・事業者・行政が連携して、開かれた学校づくりが進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 児童生徒が安心して楽しく学ぶことができる環境が整えられている。					設問② 子どもの個性や自己有用感、自他の生命を尊重する意識をはぐくみ、心の教育が充実している。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	72	14.1%	17.9%	17.9	そう思う	23	4.7%	6.8%	6.8
どちらかというと思う	163	31.8%	40.4%	30.3	どちらかというと思う	81	16.6%	23.8%	17.9
どちらとも言えない	111	21.7%	27.5%	13.8	どちらとも言えない	180	36.8%	52.9%	26.5
どちらかというと思わない	39	7.6%	9.7%	2.4	どちらかというと思わない	33	6.7%	9.7%	2.4
そう思わない	18	3.5%	4.5%	0.0	そう思わない	23	4.7%	6.8%	0.0
わからない	85	16.6%			わからない	127	26.0%		
無回答	24	4.7%			無回答	22	4.5%		
総数	512	100.0%			総数	489	100.0%		
有効回答数	403		100.0%	64.4	有効回答数	340		100.0%	53.5
設問③ 市民・地域・事業者・行政が連携して、開かれた学校づくりが進んでいる。									
回答	件数	比率	得点評価						
そう思う	41	8.2%	10.8%	10.8					
どちらかというと思う	114	22.8%	29.9%	22.4					
どちらとも言えない	161	32.1%	42.3%	21.1					
どちらかというと思わない	48	9.6%	12.6%	3.1					
そう思わない	17	3.4%	4.5%	0.0					
わからない	97	19.4%							
無回答	23	4.6%							
総数	501	100.0%							
有効回答数	381		100.0%	57.5					
全設問の平均				58.5					

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	
1	教育相談室等の相談件数(件)	教育相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーへの学校や保護者からの相談件数。年間各学校あたり2件程度の向上を目指します。		目指す値
				H26
				2,980
担当課	教育指導課	指標の把握方法(数値の出所)		
		教育相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの相談件数		
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	
2	1日30分以上読書をしている児童生徒の割合(%)	1日当たり30分以上読書をしている小・中学生の割合。小中学校に配置している学校図書館司書を活用して読み聞かせやブックトークを行い、読書の楽しさを伝え読書活動を推進します。		目指す値
				H26
				34.0
担当課	教育指導課	指標の把握方法(数値の出所)		
		全国学力・学習状況調査の結果		
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無> 微減。調査対象児童生徒の違いによる個体差。	
3	学校創造推進事業の実施回数(回)	学校が、その道の達人と呼ばれる地域の方や保護者の支援を受けて特色ある教育活動を実施した合計回数。栽培活動や茶道の指導、動物の飼育などを通じた命の教育を行います。		目指す値
				H26
				1,603
担当課	教育指導課	指標の把握方法(数値の出所)		
		本事業における学校からの実施報告		
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	

3 市民の役割分担(市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①3	児童・生徒の登下校の時間に合わせた道路掃除、散歩、買い物等による子どもたちの見守り活動を行っている。			
	回答	件数	比率	得点評価
	十分取り組んでいる	25	4.9%	5.3
	取り組んでいる	44	8.6%	7.0
	少し取り組んでいる	89	17.4%	9.4
	あまり取り組んでいない	109	21.3%	5.8
	全く取り組んでいない	206	40.2%	0.0
	無回答	39	7.6%	
	総数	512	100.0%	
	有効回答数	473	100.0%	27.4



## 4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	児童生徒一人ひとりの確かな学力の育成のため、個に応じた指導が行えるよう、市独自の少人数学級編制の対象学年の拡大の検討、学びのサポーターの拡充など、多様な教育活動を展開します。	学びのサポーター派遣事業	学びのサポーター 授業援助1,447時間、 学力補充1,395時間実施	各校で順調に活用したが、学生サポーターのため学業の都合で指導に入れないこともあり、予定を下回った。	教育指導課
①2	「体力向上推進プラン」に基づき、授業や行事を工夫し児童生徒の体力向上を進めます。	体力向上推進プランの推進	全ての小中学校で、全国体力運動能力・運動習慣等調査の結果から児童生徒の実態を分析し、改善に向けた取組プランを毎年策定し、それに基づいて実施している。		教育指導課
①3	安全・安心な教育環境を整備するため、学校施設の安全点検を強化し、改善が必要な場合は早急に改修します。	学校施設整備事業	あすか野小学校増築工事、俵口小学校埋設消火管改修工事、上中学校プールろ過機入替工事等の改修工事を実施した。		教育総務課
①4	保護者への子育てに関する情報を提供し、相談体制を充実します。	教育相談室業務の周知	いじめや不登校等の子育て上の悩みなどについて、子どもや保護者の相談を実施。相談件数1,596件		教育指導課
①5	スクールアドバイザーを活用し、いじめや暴力行為等の課題の改善に取り組みます。	スクールアドバイザー事業	いじめなどの問題に学校が適切に対応できるよう専門家の支援を即時に受けられる体制を整える。 教育委員会への助言3回。		教育指導課
①6	食育を推進します。	給食指導、食育学習の充実	家庭科の学習での食育学習を実施。また、給食指導を通じて好き嫌いをなく食べることの大切さを指導。給食残量調査の結果から学校独自に取組目標を設定するなどした。		教育指導課
①7	学校給食を通じて、正しい栄養や食事のとり方などについて知識啓発を行います。	食に関する啓発の推進	○初めて給食を経験する全ての小学校1年生を対象に、「きゅうしょくのひみつ」と題し、栄養教諭等が指導。（平成26年7月までに実施済）  ○成長期にある子供に重要なカルシウムの働きを知ってもらうため、全ての小学校4年生を対象に、栄養教諭等が指導。（平成26年11月までに実施済）  ◎給食時間を利用して食に関して、栄養教諭等がワンポイント指導を行う。 全小学校を対象に、各学期毎にそれぞれ1回訪問指導。（平成27年3月）。 全中学校対象に、1・2学期にそれぞれ1回訪問指導。（平成26年12月）		学校給食センター
①8	学校給食センターの更新に向けて、運営方法、施設設備及びアレルギー対応などについて検討を進めます。	学校給食センター更新の検討(高山スーパースクールゾーン構想)	学校給食センター更新に向け、学校給食センター更新基本計画等を踏まえ、先地等の取り組み状況も参考に調査検討を行う。  ○平成27年2月に東大阪市立学校給食センターを視察  ○平成26年11月開催の運営協議会において、2か所の学校給食センターの建設手順及び運営方法について協議した。  ○アレルギー児童生徒の調査準備は完了。調査の実施時期については、より正確なデータ把握のため、平成27年度とした。		学校給食センター
①9	全小中学校の省エネルギー化を目指した取組を行います。	鹿ノ台中学校スーパーエコスクール実証事業	文部科学省の実証事業に採択された鹿ノ台中学校で、太陽光発電設備設置をはじめとした創エネ、省エネの取組と環境に配慮した改修工事を実施しており、南館、屋内運動場の改修工事を完了した。また、太陽光発電設備設置工事の契約を締結した。		教育総務課
①9	全小中学校の省エネルギー化を目指した取組を行います。	エコボーナスの実施	H25年度の幼稚園、小中学校の電気使用量の削減額に応じて、備品購入費として各学校・園に配当した。		教育指導課

①10	全小学校のトイレを洋式化するなどの改修をし、使いやすく、きれいで、明るいものにします。	学校トイレ改修事業	洋式化・乾式化・節水型への更新など、学校トイレの全面改修を行う。平成26年度は、生駒南小学校のトイレ改修を実施した。		教育総務課
①11	建物の長寿命化を考慮した老朽化対策を行います。	桜ヶ丘小学校施設老朽化対策先導事業	長寿命化改修の基本・実施設計を完了した。		教育総務課
①12	地域や保護者と連携し、生駒北小中学校において小中一貫教育を推進します。	生駒北小中一貫校(仮称)推進事業(高山スーパースクールゾーン構想)	小中一貫校準備会議の議論をふまえ、小中一貫校の基本・実施設計を行う設計業者をプロポーザルにより決定した。また、生駒北中学校の境界確定はほぼ終了し、予定していた用地の大半は買収した。		教育総務課
			小中一貫教育準備会議を5回開催。事務局による先進地視察1回実施。小中学校による施設設備の検討について報告2回。		教育指導課
②1	教職員の資質や能力の向上を図り、子どもたちの個性や自己有用感、自他の生命を尊重する意識を伸ばす特色ある教育を行います。	教職員研修	市教委主催研修会22回開催。参加教員延べ1,451人	実施するテーマや内容が変わったため、内容は充実しているが、回数は予定を下回った。	教育指導課
②2	朝の読書活動や学校図書館の整備・充実を図り、児童生徒の感性を高め、豊かな人間性を涵養します。	学校図書館司書派遣事業	H26年度より、全ての小中学校に週2日配置し、ブックトークや読み聞かせなどの取組を行ったりしている。		教育指導課
②3	伝え合う力の育成の一環として、小学校3年生から外国語活動に取り組みます。	外国語指導助手派遣事業	小中学校への外国語指導助手配置日数790日 小学校への地域人材配置時間数798時間		教育指導課
②4	適応指導教室の運営により、不登校児童・生徒の学校生活への復帰を支援するためのカウンセリング、教科指導、集団生活への適応指導等を計画的に実施します。	適応指導教室指導員	欠席日数150日以上の子どもの割合57%		教育指導課
③1	地域ぐるみの児童生徒健全育成事業を通じて小・中学校を支援する取組を行います。	地域ぐるみの児童生徒健全育成事業	地域と連携して児童生徒の健全育成と安全安心な環境づくりを推進する。校区委員会独自の事業7回、校区推進委員会21回、ネットモラルをテーマとした講演会実施。		教育指導課
③2	スクールボランティアなど地域の教育力を活用した取組を充実します。	スクールボランティア活動の拡充	地域の方や保護者を中心に、登下校時の見守り活動や学校行事の手伝い、授業・クラブ活動の補助など、多分野に渡り活動を実施。		教育総務課
③3	ホームページ等を通して学校運営や児童生徒の様子を公表します。	ホームページの運営	小中学校で学校教育目標や日々の教育活動をホームページで公表し、開かれた学校づくりに努めている。		教育指導課
③4	学校評価を進めていくために、学校評価シートを効果的に活用します。	学校評価の充実	学校評議員会等を充実するとともに、学校関係者評価を実施し、自己評価の結果を公表する。 学校評議員会開催回数 60回 新評価総括表による学校評価の実施率 100%、学校関係者評価公表率 100%		教育指導課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進 捗 度 の 理 由
市民実感度	58.5	B	児童生徒一人ひとりの個に応じた指導をサポートする少人数学級編制や学びのサポーターの配置が整えられ機能している。学校では、児童生徒の活動を中心とした授業の在り方を授業研究を通して研修をすすめ、達成感を持たせる授業を行うとともに、読書活動の推進、学校創造推進事業を中心に命の大切さを学ぶ取組を実施し、心の教育の充実を図っている。学校施設の整備では耐震も終わり、老朽化対策、トイレの様式化整備など計画的に進んでいる。地域ぐるみの活動を中心に市民・地域・行政が協力した学校支援体制も整っており、スクールサポーターも徐々に充実してきている。それぞれの施策が順調に成果をあげてきている。
指標	目標値を達成している 指標が多い		
市民の役割分担	27.4		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進 捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている  
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	2	学校教育の充実
基本施策	3	特別支援教育
4年後のまち	①	特別支援体制の充実により一人ひとりの発達段階に応じた教育が行われている。
	②	読み書きやコミュニケーション等で困っている幼児・児童・保護者に通級指導等を実施し、通級者の社会適応能力が高まっている。
	③	特別な支援を要する幼児・児童・生徒の保護者に対して、専門的な相談員等による教育相談が行われている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	特別支援体制の充実により一人ひとりの発達段階に応じた教育が行われている。	設問②				設問③	特別な支援を要する幼児・児童・生徒の保護者に対して、専門的な相談員等による教育相談が行われている。				
		回答	件数	比率	得点評価						
		回答	件数	比率	得点評価	回答	件数	比率	得点評価		
		そう思う	36	7.0%	9.9%	9.9	そう思う	29	5.9%	9.3%	9.3
		どちらかというと思う	88	17.2%	24.2%	18.1	どちらかというと思う	62	12.7%	19.9%	15.0
		どちらとも言えない	157	30.7%	43.1%	21.6	どちらとも言えない	174	35.6%	55.9%	28.0
		どちらかというと思わない	50	9.8%	13.7%	3.4	どちらかというと思わない	30	6.1%	9.6%	2.4
		そう思わない	33	6.4%	9.1%	0.0	そう思わない	16	3.3%	5.1%	0.0
		わからない	122	23.8%			わからない	153	31.3%		
		無回答	26	5.1%			無回答	25	5.1%		
		総数	512	100.0%			総数	489	100.0%		
		有効回答数	364		100.0%	53.0	有効回答数	311		100.0%	54.7
		回答	件数	比率	得点評価						
		そう思う	36	7.2%	11.8%	11.8					
		どちらかというと思う	100	20.0%	32.9%	24.7					
		どちらとも言えない	124	24.8%	40.8%	20.4					
		どちらかというと思わない	34	6.8%	11.2%	2.8					
		そう思わない	10	2.0%	3.3%	0.0					
		わからない	177	35.3%							
		無回答	20	4.0%							
		総数	501	100.0%							
		有効回答数	304		100.0%	59.7					
全設問の平均					55.8						

2-1 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	
1	特別支援教育支援員等の各校園への配置率(%)	幼稚園9園、小学校12校、中学校8校に対する特別支援教育支援員の配置校の割合。 学校・園の要望を受けて、平成29年度には全ての幼稚園、小学校と中学校6校に配置を目指します。		
			目指す値	実績値
			H26	H26
担当課	教育指導課	指標の把握方法(数値の出所)	市による特別支援教育支援員配置学校数	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無>	
2	ことばの教室・通級指導教室エルへの通級者数(人)	読み書きやコミュニケーションなどで困っている子どもたちを支援するための教室への通級者数。 通級者が社会への適応能力を高めることを目指します。		
			目指す値	実績値
			H26	H26
担当課	教育指導課	指標の把握方法(数値の出所)	当該施設からの報告	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無:□有 ■無> 個々に丁寧な対応を図ることに重点を置いたことから運営上通級者数が減っている。	
3	特別支援教育相談員等による相談件数(件)	教育支援施設等における特別支援教育相談及び就学前教育相談の件数。 専門相談員による指導で、特別支援教育の充実を図ります。		
			目指す値	実績値
			H26	H26
担当課	教育指導課	指標の把握方法(数値の出所)	市教委で受け付けた相談希望件数	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無:□有 □無>	

3 市民の役割分担(市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	特別支援教育を理解し、その教育に協力している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	9	1.8%	1.9%	1.9
取り組んでいる	35	7.2%	7.5%	5.6
少し取り組んでいる	96	19.6%	20.6%	10.3
あまり取り組んでいない	145	29.7%	31.1%	7.8
全く取り組んでいない	181	37.0%	38.8%	0.0
無回答	23	4.7%		
総数	489	100.0%		
有効回答数	466		100.0%	25.6

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	特別支援教育コーディネーターの養成、資質向上に向け、市独自の研修に努めます。	特別支援教育コーディネーター研修	月に1回研修を実施し、参加のコーディネーターが学校で研修内容を共有している。県特別支援教育巡回アドバイザー等を講師に招き、現場のケースについて具体的な対応策を検討するなどしている。	研修時間の確保	教育指導課
①2	特別支援教育支援員の募集を市の広報紙及びホームページを通じて行い、市民から採用します。	特別支援教育支援員募集	市ホームページで広く募集し、指導課のリストに登録している。学校が要望する人材をその中から随時配置する。		教育指導課
①3	特別支援教育支援員を適切に配置します。	特別支援教育支援員配置	指導課のリストに登録している人材の中から学校が要望する人材を選択し、随時配置する。		教育指導課
①4	特別支援教育に関わる教員の資質・能力の向上・啓発を図ります。	特別支援教育講演会	夏期休業中にすべての小中学校教員を対象に特別支援教育講演会を実施。県特別支援教育巡回アドバイザー 浦西礼美氏タブレット研修を開催。		教育指導課
②1	幼児・児童・生徒が主体的に取り組めるような指導・支援内容を工夫・検討するとともに、情報提供を行います。	ことばの教室・通級指導教室エル	通常学級に在籍する発達障害等のある児童生徒や保護者、担当する指導者の相談を実施。		教育指導課
③1	教育相談に応じるスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、教育支援施設の教育相談員を適切に配置し、活用します。	スクールカウンセラー配置	全ての小学校と中学校5校に配置。残り3校の中学校には、県のスクールカウンセラーが配置されている。 相談件数 1,742件		教育指導課
③2	特別支援教育相談事業についての専門相談員の充実を図ります。	特別支援教育相談	元県立特別支援学校校長、臨床心理士による相談。児童生徒、その保護者、担当教員を対象に実施。 相談件数 81件		教育指導課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度（行政）	進捗度の理由
市民実感度	55.8	B	市の特別支援教育は、特別支援教育相談、就学前教育相談による個別相談が充実し成果を上げている。また、発達障害等、特別な支援を要する児童生徒に対し特別支援教育支援員を配置し学習や活動の支援を行っている。さらに、特別支援教育相談の制度やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる児童生徒、保護者、指導者に対する支援・相談件数も年々増えている。近年「生駒市は特別支援教育が充実していると聞いたが」という問合せも増えている。また、以前より課題とされてきた市民に対する市の特別支援の周知も、地域ぐるみの講演会を続けることなどで徐々に広まっていると考える。今後、ことばの教室、通級指導教室の受け入れ枠の増加や特別支援教育支援員の更なる充実という課題もあるが、総合的に順調に推移していると考えられる。
指標	一部目標値に達していない指標がある		
市民の役割分担	25.6		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

【進捗度の基準】 A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそれぞれ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度（審議会）	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	3	生涯学習の推進
基本施策	1	生涯学習
4年後のまち	①	だれでも自由に学習できる環境が整備され、生きがいや楽しさを感じている市民が増えている。
	②	生涯学習の成果が地域社会に還元される機会が増えている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① だれでも自由に学習できる環境が整備され、生きがいや楽しさを感じている市民が増えている。					設問② 生涯学習の成果が地域社会に還元される機会が増えている。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	45	8.8%	11.1%	11.1	そう思う	17	3.5%	4.8%	4.8
どちらかというと思う	113	22.1%	28.0%	21.0	どちらかというと思う	86	17.6%	24.3%	18.2
どちらとも言えない	161	31.4%	39.9%	19.9	どちらとも言えない	185	37.8%	52.3%	26.1
どちらかというと思わない	48	9.4%	11.9%	3.0	どちらかというと思わない	43	8.8%	12.1%	3.0
そう思わない	37	7.2%	9.2%	0.0	そう思わない	23	4.7%	6.5%	0.0
わからない	83	16.2%			わからない	113	23.1%		
無回答	25	4.9%			無回答	22	4.5%		
総数	512	100.0%			総数	489	100.0%		
有効回答数	404		100.0%	55.0	有効回答数	354		100.0%	52.2
					全設問の平均				
					53.6				

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
3	市民1人当たりの図書貸出冊数(冊)	図書の年間貸出冊数/総人口。市民の学習意欲を示す数値の一つであり、図書サービスや利便性の向上を図り、市民1人あたりの貸出冊数の増加を目指します。		H26	H26
				11.3	10.7
担当課	図書館	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無> 生駒駅前図書室開室に伴う貸出冊数増加が3%に止まったため。なお、貸出人数は8%増であり、一定の効果はあった。	指標の把握方法(数値の出所)	
			図書館統計		
2	自主学習グループによる市民向け学習会の開催回数(回)	自主学習グループが広く市民を対象に実施する学習会の開催回数。生涯学習の成果の社会還元化、ボランティア意識の高まりが数値として表れますが、現状においても活動が活発に行われていることから、開催回数の増加を目指します。		H26	H26
				236	221
担当課	生涯学習課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無> グループ数の減少に伴い、開催回数が減った。	指標の把握方法(数値の出所)	
			広報掲載件数		
3	生涯学習まちづくり人材バンク活用件数(件)	専門的な知識や経験、技能等を生涯学習のまちづくりに活かすための人材登録制度の活用件数。活発に制度が活用されていることから、活用件数の増加を目指します。		H26	H26
				400	569
担当課	生涯学習課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所)	
			まちづくり人材バンク活動支援報告書		

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	生涯学習の必要性和目的を理解し、積極的に生涯学習活動を行っている。				
回答		件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる		21	4.2%	4.6%	4.6
取り組んでいる		57	11.4%	12.4%	9.3
少し取り組んでいる		88	17.6%	19.1%	9.5
あまり取り組んでいない		124	24.8%	26.9%	6.7
全く取り組んでいない		171	34.1%	37.1%	0.0
無回答		40	8.0%		
総数		501	100.0%		
有効回答数		461		100.0%	30.1

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	学習機会を紹介・案内するため情報提供を行うとともに、気軽に学習活動が楽しめる工夫やノウハウ等の情報を提供します。	生涯学習情報の提供	広報いこまち、ホームページ、ツイッター等を通じて、市民へ学習機会のPRを行った。		生涯学習課
①2	いこまち大学を充実するとともに、OB会の活動を支援します。	高齢者教育推進事業	寿大学特別学習会や実務講習会等の開催回数を増やすことにより参加人数が増加した。高齢者に学習の場と社会貢献に対する意識の向上のための機会を提供するとともに、クラブ学習会等の学習カリキュラムの充実を図った。OB会については、地域活動の事業の提案等を求め、社会貢献の機会を増やして頂くため、今後市として広報の掲載等により支援を進める。地域デビューガイダンスでは、角淳一氏を講師に迎え記念講演を開催したところ946名の参加があった。また、生駒市や各団体の取り組みを個別に紹介する13団体のブースを設け、諸事業の参画の機会を提供したところ322名の参加があり、この参加者のうち10名がまちづくり人材バンク等へ登録された。		生涯学習課
①3	市民ニーズの把握に努め、指定管理者のモニタリング等から得られる市民ニーズを把握し、利用者にとって利便性の高い生涯学習施設の管理を行います。	生涯学習施設整備事業	利用者が安心安全に利用できるよう、各施設で建物や設備の補修等を行い、また備品購入等により良好な学習環境の向上に努めた。		生涯学習課
①4	現在図書館を活用していない方々も利用しやすい多様な図書館サービスの拡充を図ります。	来館困難な高齢者等への本の宅配事業	平成27年度から本館エリアで実施		図書館
①5	子どもの健やかな成長の糧となるように子どもの読書活動を推進します。	子ども読書活動推進事業	おはなし会、絵本の会の実施。 参加者数：おはなし会8,715人、絵本の会3,038人、ブックトーク2,892人		図書館
②1	市民の学習成果を還元する学習会の開催を継続して支援します。	自主学習グループ補助金交付事業	補助対象学習会開催221件、(内補助金交付件数178件)、補助金交付額2,015,800円、参加者数12,608人。 各々の自主学習グループが学習活動を通して学んだ知識や技術を地域に還元することを奨励する目的とし、又文化祭の一環として自主学習グループフェスタ(成果発表会)を開催している。		生涯学習課
②2	生涯学習まちづくり人材バンクを充実し、活用を推進します。	まちづくり人材バンク設置事業	人材バンクの登録数97件(個人67、団体30件)、活用件数569件、利用人数14,411人		生涯学習課
②3	学校やボランティア団体等との連携を一層推進します。	PTA協議会補助金交付事業	日本PTA全国大会や近畿ブロックPTA研究大会等の参加費について補助するとともに、生駒市PTA協議会研究大会開催への補助金交付、市との共済事業で活動実行事業を行った。		生涯学習課
②4	市民との連携や協働のもと図書館サービスを進めていきます。	市民との協働の推進事業	生駒おはなしの会、生駒市子どもの本連絡会、生駒ビブリオ倶楽部等と連携して事業を実施		図書館



5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	53.6	C	人材バンクについては、利用回数は増加し登録件数も増えている状況である。自主学習グループによる学習機会の提供、環境整備により、地域に学習成果が還元されている。 市民一人一人の積極的な活動への参加を促し、学習を通じたまちづくりの人材となるような取組を強化する。 寿大学は高齢者の日常生活やニーズに沿った学習内容になるよう学習カリキュラムの充実を図り、学習機会を提供することにより、卒業後は地域に学習成果が還元されている。
指標	目標値に達していない 指標が多い		
市民の役割分担	30.1		
行政の4年間の主な取組	一部進捗していない取組がある		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている  
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	3	生涯学習の推進
基本施策	2	青少年
4年後のまち	①	地域、学校、家庭の連携のもと、青少年が「生きる力」と「心豊かな人間性」を身につけ、健やかに成長している。
	②	子どもたちが安全・安心に遊べて、地域の人たちと交流する場が整えられている。
	③	地域社会の中でリーダーとして積極的に活動できる青少年の育成が進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 地域、学校、家庭の連携のもと、青少年が「生きる力」と「心豊かな人間性」を身につけ、健やかに成長している。					設問② 子どもたちが安全・安心に遊べて、地域の人たちと交流する場が整えられている。						
回答		件数	比率	得点評価	回答		件数	比率	得点評価		
そう思う		33	6.6%	9.0%	9.0	そう思う		47	9.2%	11.2%	11.2
どちらかというと思う		101	20.2%	27.5%	20.6	どちらかというと思う		110	21.5%	26.1%	19.6
どちらとも言えない		187	37.3%	51.0%	25.5	どちらとも言えない		154	30.1%	36.6%	18.3
どちらかというと思わない		33	6.6%	9.0%	2.2	どちらかというと思わない		73	14.3%	17.3%	4.3
そう思わない		13	2.6%	3.5%	0.0	そう思わない		37	7.2%	8.8%	0.0
わからない		113	22.6%			わからない		66	12.9%		
無回答		21	4.2%			無回答		25	4.9%		
総数		501	100.0%			総数		512	100.0%		
有効回答数		367		100.0%	57.4	有効回答数		421		100.0%	53.4
設問③ 地域社会の中でリーダーとして積極的に活動できる青少年の育成が進んでいる。											
回答		件数	比率	得点評価							
そう思う		11	2.2%	3.2%	3.2						
どちらかというと思う		52	10.6%	15.1%	11.3						
どちらとも言えない		177	36.2%	51.3%	25.7						
どちらかというと思わない		70	14.3%	20.3%	5.1						
そう思わない		35	7.2%	10.1%	0.0						
わからない		120	24.5%								
無回答		24	4.9%								
総数		489	100.0%								
有効回答数		345		100.0%	45.2						
全設問の平均				52.0							

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向		
1	青少年健全育成事業参加人数(人)	野外活動事業、国際交流事業、子どもの居場所作り事業、放課後子ども教室推進事業等への参加人数。少子化傾向にあります。青少年の自立心や協調性を育むため、参加者のアンケート結果等を反映させ、現状値より多くの青少年が参加できる内容の実施に努めます。		目指す値	実績値
				H26	H26
				2,818	5,748
担当課			指標の把握方法(数値の出所)		
生涯学習課			各事業の参加人数実績報告		
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
2	青少年指導委員による巡回指導回数(回)	約120名の市民等に委嘱している青少年指導委員による巡回指導回数。登下校時や夜間等に巡回指導することにより、青少年の非行防止や安全確保を目指します。		目指す値	実績値
				H26	H26
				209	329
担当課			指標の把握方法(数値の出所)		
生涯学習課			青少年指導委員巡回報告カード		
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
3	青少年健全育成団体に対する支援事業回数(回)	リーダー、ジュニアリーダー、ボイスカウト等の青年健全育成団体に対して支援する事業の開催回数。青少年健全育成のために積極的に活動している団体に対し、補助金交付等の助成を行うとともに、若者の力を活用した事業を展開し、本市に貢献できる青少年リーダーの育成に努めます。		目指す値	実績値
				H26	H26
				18	22
担当課			指標の把握方法(数値の出所)		
生涯学習課			支援事業開催回数実績報告		
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		

3 市民の役割分担(市民1人でできること) 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	地域で子どもを育てようという意識を持っている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	34	6.6%	7.2%	7.2
取り組んでいる	63	12.3%	13.3%	10.0
少し取り組んでいる	160	31.3%	33.9%	16.9
あまり取り組んでいない	127	24.8%	26.9%	6.7
全く取り組んでいない	88	17.2%	18.6%	0.0
無回答	40	7.8%		
総数	512	100.0%		
有効回答数	472		100.0%	40.9

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題 (ある場合のみ)	担当課
①1	青少年健全育成に関する情報提供や啓発活動の支援を行います。	青少年健全育成啓発事業	生涯学習施設の指定管理者とも連携して、青少年健全育成事業及び啓発事業を実施。 事業参加人数:5,748人		生涯学習課
①2	青少年の教育のため、地域、学校、家庭が連携できる環境づくりや取組の支援を行います。	チャレンジ教室事業	チャレンジ教室実施回数 6回		生涯学習課
①3	市民等が持つ能力を子育てに活かす体制づくりと活動の機会を提供します。	子どもの居場所づくり事業	いこまっこ教室実施回数 12回		生涯学習課
①4	青少年に関する相談体制・環境の充実を図ります。	青少年教育相談事業	教育支援施設の教育相談室で16歳から18歳までの青少年教育相談を実施。来所相談の他、電話やメールによる相談を受けている。 H26年度相談件数:66件		教育指導課
①5	ひきこもりや就労等に関する相談窓口を充実し、若者の自立のための支援を推進します。	若者自立無料相談事業	若者自立無料相談事業回数 46回	無料相談会の会場の提供とHP・広報でのPR等の支援を行なっている。今後事業者が撤退した場合、臨床心理士、相談員の人材を確保するために市独自で予算計上する必要がある。	生涯学習課
①6	指定管理者等と連携して、野外活動等の集団生活を通して自立心や協調性を育み、青少年の健全育成を図る。	青少年野外活動事業	キャンプ実施回数 9回		生涯学習課
②1	健全育成パトロールなど、地域ぐるみの児童生徒健全育成事業推進協議会が活動できる環境の整備・取組を推進します。	地域ぐるみ健全育成推進事業	学校・保護者・地域の関係機関が協議会を設置し、中学校単位で児童生徒の見守り活動やあいさつ運動などを実施したり、交流学習会や合同交流発表会を実施したりしている。		教育指導課
②2	青少年が健全に成長できるように、有害環境の浄化など社会環境を改善・整備します。	青少年健全育成環境保全事業	犯罪・事故等を未然に防止することを目的に実施 青色パトロール巡回回数:90回 青少年に対する有害環境の浄化を目的に市内店舗の立入調査等を実施 有害環境浄化活動:2回	環境保全事業の活動は、行政だけでは困難なところもあるため、今後も地域住民の協力を得る等、関係機関と連携して継続していく必要がある。	生涯学習課
②3	子どもたちが地域の中で、安全に安心して遊び、大人たちと交流できる場・機会を提供します。	放課後子ども教室事業	放課後子ども教室(真弓・俵口・生駒東) 総開催日数 93回	事業の拡大(設置校数の増加)を行なうには、各校での教室の確保とボランティア人材の発掘・育成が必要となる。また、本事業の経費は、総事業費の3分の2は補助金が支給されるが、今後国の施策により補助金が終了した場合、経費負担が課題になる。	生涯学習課
②4	街頭巡回指導による青少年非行の早期発見など、非行防止活動を強化します。	青少年指導活動事業	巡回指導回数:329回		生涯学習課
②5	青少年健全育成団体が活動できる環境の整備・支援を行います。	青少年健全育成団体支援事業	ジュニアリーダー、あすなる会、青年チーム、子ども会などの青少年健全育成団体に対する支援事業に対する支援事業回数:22回	継続した活動を行なうため、会員の増員を目指した各団体のPR活動及び情報提供を強化とすることがある。	生涯学習課
③1	青少年リーダー・地域リーダーの積極的な養成を行います。	青少年リーダー育成事業	青少年・青年育成登録人数 86人		生涯学習課
③2	地域のリーダーとして育っている青少年の活動の支援を強化します。	青少年団体育成支援事業	青年チームの行う事業への参加者数 687名		生涯学習課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	52.0	B	すべての指標が目標値を上回っている。地域リーダーの育成については、数年前から青年層の活動を活性化させ、まちづくりに積極的に貢献できる若者の育成に取り組んでいる。また、市民の役割分担については、地域で子どもを育成する意識を高めていく取り組みが今後必要である。次に行政の4年間の主な取り組みについて、すべての事業で、目標値を上回っているが、これを維持するためには、新たな団体やスタッフの確保が、取り組むべき課題と考える。また若者の支援事業等の更なる取り組みを進めていく。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	40.9		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている  
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	4	文化・スポーツ活動の推進
基本施策	1	文化活動
4年後のまち	①	文化活動に活発に参加する市民が増え、豊かな感性が育っている。
	②	市民と行政が協働し、生駒らしい魅力ある文化の創造が進んでいる。
	③	生涯学習施設で様々な文化・芸術に触れ合える機会が増えている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 文化活動に活発に参加する市民が増え、豊かな感性が育っている。					設問② 市民と行政が協働し、生駒らしい魅力ある文化が創造されている。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	33	6.6%	8.4	8.4	そう思う	30	5.9%	7.3	7.3
どちらかというと思う	115	23.0%	29.3	22.0	どちらかというと思う	97	18.9%	23.6	17.7
どちらとも言えない	182	36.3%	46.4	23.2	どちらとも言えない	188	36.7%	45.7	22.9
どちらかというと思わない	46	9.2%	11.7	2.9	どちらかというと思わない	52	10.2%	12.7	3.2
そう思わない	16	3.2%	4.1	0.0	そう思わない	44	8.6%	10.7	0.0
わからない	88	17.6%			わからない	77	15.0%		
無回答	21	4.2%			無回答	24	4.7%		
総数	501	100.0%			総数	512	100.0%		
有効回答数	392		100.0%	56.6	有効回答数	411		100.0%	51.0
設問③ 生涯学習施設で様々な文化・芸術に触れ合える機会が増えている。									
回答	件数	比率	得点評価						
そう思う	17	3.5%	4.4	4.4					
どちらかというと思う	146	29.9%	37.8	28.4					
どちらとも言えない	153	31.3%	39.6	19.8					
どちらかというと思わない	47	9.6%	12.2	3.0					
そう思わない	23	4.7%	6.0	0.0					
わからない	82	16.8%							
無回答	21	4.3%							
総数	489	100.0%							
有効回答数	386		100.0%	55.6					
全設問の平均				54.4					

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	
1	市民の成果発表事業の参加者数(人)	毎年秋に実施する市民文化祭(自主学習グループフェスタ、リベラルコンサート、夢リサイタル、いこま寿大学祭など)、市民川柳大会、書き初め大会、各種コンサートの延べ参加者数。活発な市民参加の増加に努めます。	21,000	目指す値
			19,976	H26
			15,601	実績値
担当課	生涯学習課		18,700	指標の把握方法(数値の出所)
				参加申込、プログラム等の配布等参加者実数の算定による
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無> 新春書き初め大会・展示会等の事業を市民文化祭ジュニア・アートフェスタに統合したため	
2	生涯学習施設で行う文化芸術事業の満足度(点)	指定管理者が実施する文化芸術事業のモニタリング結果(100を最大とした相対評価値)。	100	目指す値
			86	H26
			94.1	実績値
担当課	生涯学習課		93.7	指標の把握方法(数値の出所)
				生涯学習施設事業報告書
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	
3	生涯学習施設の利用者数(人)	たけまるホール、芸術会館、図書館、コミュニティセンター、南コミュニティセンター、北コミュニティセンター等の年間の利用者数。施設の利便性の向上を図りながら、市民の文化活動を促進することにより、利用者の増加を目指します。	1,150,000	目指す値
			940,046	H26
			1,083,796	実績値
担当課	生涯学習課		1,050,000	指標の把握方法(数値の出所)
				申請者への個別調査
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	

3 市民の役割分担 (市民1人でできること)(市民満足度調査 平成27年6月実施)

①1	文化や芸術に関心を持っている。				
回答	件数	比率	得点評価		
十分取り組んでいる	32	6.5%	6.8%	6.8	
取り組んでいる	111	22.7%	23.5%	17.6	
少し取り組んでいる	147	30.1%	31.1%	15.6	
あまり取り組んでいない	124	25.4%	26.3%	6.6	
全く取り組んでいない	58	11.9%	12.3%	0.0	
無回答	17	3.5%			
総数	489	100.0%			
有効回答数	472	100.0%		46.6	

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	生涯学習まちづくり人材バンク登録者のPRを行います。	まちづくり人材バンク事業	自治会や市民団体、NPOや福祉法人等が人材バンクを活用し、学習活動を行っている。		生涯学習課
①2	市民の文化活動の成果を発表する機会や場を充実します。	市民文化祭等の開催事業	市民文化祭の参加人数:15,601人	新春書初め大会・展示会等の事業を市民文化祭ジュニア・アートフェスタに統合したため、当初の目標人数(18,700人以上)より減少した。	生涯学習課
①3	グループ・団体間の交流の場の提供や、自主運営に向けた取組を支援します。	生涯学習推進連絡会事業	自主学習グループ連絡会が企画事業の検討、及び当日運営を行っている。		生涯学習課
②1	市民団体、NPO、指定管理者など、また市民が行政との協働で実施する生駒らしい文化芸術の普及と市民文化の向上に寄与する事業を支援します。	文化芸術振興団体補助事業	文化芸術の振興に寄与する団体がおこなう生駒市の文化の向上に貢献する事業について補助金を交付している。	行事を担っている団体のスタッフ数が不足し、行事の運営や後継者への継承が危惧される。	生涯学習課
②1	市民団体、NPO、指定管理者など、また市民が行政との協働で実施する生駒らしい文化芸術の普及と市民文化の向上に寄与する事業を支援します。	いこま国際音楽祭補助事業	音楽を身近に親しむ機会の提供、地域文化・芸術の振興や活性化、青少年の豊かな情操を育み地域の音楽活動の発展貢献する事業について補助金を交付している。	市民ニーズに合致した事業でなければ、継続できない。	生涯学習課
③1	文化事業に対するモニタリング等により市民ニーズを把握し、生涯学習施設指定管理者による適正な事業運営がなされるよう指導評価します。	生涯学習施設指定管理事業評価	指定管理者による生涯学習施設の円滑な運営により市民の施設利用満足度を向上させる。 指定管理者が管理する生涯学習施設のアンケートの満足度「満足」「やや満足」を含め94.1%。		生涯学習課
③2	生涯学習施設指定管理者と連携して、各種文化事業のPRを行います。	指定管理者自主事業との連携	広報紙・ホームページ・ツイッターなどで各種事業のPRを行っている。		生涯学習課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	54.4	C	市民の文化芸術への関心は高まりつつある。今後も関係団体の後継者育成の働きかけとともに子どもの文化活動の推進を強化する必要があると考え、文化芸術に対する子どもの感性を育てるために、平成26年度から、市民文化祭「作品展」のジュニア版小中学生対象の「ジュニア・アート・フェスタ」を実施した。新春書初め大会等の事業をジュニア・アートフェスタに統合したため、昨年度の参加人数より減少した。 生涯学習施設の利用者数は、増加傾向にあり、満足度も高い水準を維持している。 指定管理者の質の高い自主事業を実施するほか、文化芸術団体が企画する事業を支援し、生駒市の文化の向上に貢献している。
指標	一部目標値に達していない指標がある		
市民の役割分担	46.6		
行政の4年間の主な取組	一部進捗していない取組がある		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見	(特段の意見なし)	前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	B



まちづくりの目標	2	子育てしやすく、だれもが成長できるまち
施策の大綱	4	文化・スポーツ活動の推進
基本施策	2	歴史・伝統文化
4年後のまち	①	住んでいる地域・地区に愛着を持つ市民が増えている。
	②	市民が生駒市の歴史文化に興味を持ち、文化の担い手となっている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 住んでいる地域・地区に愛着を持つ市民が増えている。					設問② 市民が生駒市の歴史文化に興味を持ち、文化の担い手となっている。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	46	9.2%	11.4%	11.4	そう思う	25	4.9%	6.1%	6.1
どちらかというと思う	164	32.7%	40.7%	30.5	どちらかというと思う	65	12.7%	15.8%	11.8
どちらとも言えない	156	31.1%	38.7%	19.4	どちらとも言えない	187	36.5%	45.4%	22.7
どちらかというと思わない	21	4.2%	5.2%	1.3	どちらかというと思わない	83	16.2%	20.1%	5.0
そう思わない	16	3.2%	4.0%	0.0	そう思わない	52	10.2%	12.6%	0.0
わからない	79	15.8%			わからない	77	15.0%		
無回答	19	3.8%			無回答	23	4.5%		
総数	501	100.0%			総数	512	100.0%		
有効回答数	403		100.0%	62.6	有効回答数	412		100.0%	45.6
全設問の平均									54.1

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	生駒歴史文化友の会の会員数(人)	平成23年度に文化財の保護、施設の整備のために創設された生駒市歴史文化基金に伴い、設立された生駒の歴史文化愛好者団体の会員数。年間会費の一部は基金に積み立てられ1年ごとに更新していきます。		H26	H26
				70	59
				指標の把握方法(数値の出所)	
担当課	生涯学習課	生駒歴史文化友の会名簿			
目標が未達成(c以下)の場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
2	生駒ふるさとミュージアムの来館者数[累計](人)	生駒ふるさとミュージアムの来館者総数(累計)。		H26	H26
				18,000	12,515
				指標の把握方法(数値の出所)	
担当課	生涯学習課	生駒ふるさとミュージアム事業報告書			
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		
3	歴史文化系講座聴講者数(人)	1年間に市及び指定管理者が開催する歴史文化系講座の聴講者数。市の歴史や伝統文化を知る機会を増やし、市民の郷土意識の高揚を図ります。		H26	H26
				500	863
				指標の把握方法(数値の出所)	
担当課	生涯学習課				
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>		

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①2	自分の住んでいる地域の歴史、伝統文化に関心を持ち、尊重している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	25	5.0%	5.3%	5.3
取り組んでいる	83	16.6%	17.6%	13.2
少し取り組んでいる	159	31.7%	33.8%	16.9
あまり取り組んでいない	139	27.7%	29.5%	7.4
全く取り組んでいない	65	13.0%	13.8%	0.0
無回答	30	6.0%		
総数	501	100.0%		
有効回答数	471		100.0%	42.8

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	生駒ふるさとミュージアムの新設、ホームページ・冊子の刊行などの情報発信を通して、市の歴史と伝統文化の活用を推進し、世代を超えて郷土愛が育まれるよう取り組めます。	生駒ふるさとミュージアム指定管理事業	地域の歴史文化の継承と地域愛の高揚を図るため生駒ふるさとミュージアムの適正な管理運営をおこなう。 生駒ふるさとミュージアムの来館者累計数:12,515人	少人数の講座等は活発に開催していたが、学校等の団体の施設見学者が少ない。	生涯学習課
①2	生駒ふるさとミュージアムを一層活用するため、指定管理者が行う学校教育との連携、子ども学芸員の活動、ボランティアの育成、フィールドワークなど、郷土愛が育まれる事業を支援します。	指定管理者自主事業との連携	子ども学芸員プロジェクトを立ち上げ、7名の子どもたちを学芸員に認定し、秋に自由研究の展示を行った。 ミュージアムボランティアを組織化して、ミュージアムイベントの運営補助を行っている。		生涯学習課
②1	生駒の歴史・伝統文化に関し、市のホームページや冊子等で情報提供します。	ホームページ・歴史文化冊子普及等情報発信事業	生駒の歴史と文化財について、調査報告書の刊行及び広報、HP「生駒市デジタルミュージアム」、ハンドブック「生駒の歴史と文化」、文化財マップ等で情報発信を行っている。		生涯学習課
②2	生駒ふるさとミュージアム指定管理者と連携して、市民が地域の歴史、伝統文化の保存・継承について、親しみを持ち、地域に愛着が持てる機会を拡充します。	生駒歴史文化基金事業	生駒歴史文化友の会における現在の会員の更新者及び新規加入者合計59人。 友の会だよりの発行(年3刊)、見学会等の開催を行っている。	PR不足のほか、特別展入館料や講座受講料、見学等に特典が少なかつた。	生涯学習課
②3	地域の歴史、伝統文化についての市民の参画・提案に対する支援を行います。	文化財愛護団体補助事業	文化財の愛護に寄与する団体がおこなう市内の文化財調査や普及等文化財保護に貢献する公共公益性の高い事業について補助を交付している。		生涯学習課
②4	市内にある有形・無形の文化財の保存と活用を進めます。	市指定事業・文化財調査事業・文化財保存補助事業	各分野の調査の成果を踏まえて、市内に存する文化財で国及び県の指定文化財を除いたものうち、生駒市にとって重要なものを市指定文化財として顕彰し活用・保存を図る。 平成26年度には伊行氏関連石造遺物群について市有形文化財に指定した。		生涯学習課
②5	市民の郷土学習の拠点として、生駒ふるさとミュージアム指定管理者が市民ニーズの把握に努め、円滑な運営を図るよう、評価・指導に努めます。	生駒ふるさとミュージアム指定管理事業評価	毎月の月例報告会において、評価やアドバイスをを行い、より一層ミュージアムが発展するよう指導を行っている。		生涯学習課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進 捗 度 の 理 由
市民実感度	54.1	C	郷土愛は高まりつつあるが、今後個人が主体的に各事業に参加し、担い手となるような取組または、ふるさとミュージアムで行う事業のPRについて強化する必要がある。 ふるさとミュージアムの運営、ボランティアの育成等により、子どもやシニア層などが地域愛を深める機会を提供していく。
指標	目標値に達していない 指標が多い		
市民の役割分担	42.8		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進 捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている  
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	